

# ガザ虐殺、ウクライナ戦争やめろ！ 米日による中国への侵略戦争とめよう！

女性は反戦闘争の先頭に立ち、世界戦争への流れを絶対にとめましょう。戦争と女性差別の根源である資本主義・帝国主義と立ち向かう3・8国際婦人デーに集まり、この社会を根底から変えましょう。

ウクライナ戦争は開戦から2年が迫り、双方で死傷者は50万人を超えています。10・7蜂起からのパレスチナ人民の死者は2万5千人を超えています。アメリカ帝国主義こそが、この戦争を推進し泥沼化させている根本原因です。アメリカ帝国主義は軍事的にも経済的にも力を落とし、中国が最大の脅威となったため「ロシアを押さえつけ中国を打ち負かす」という国家安全保障戦略を2022年10月に打ち出しました。アメリカは「台湾優位」を口実に中国への侵略戦争を準備し、世界を戦争にたたき込んでその支配をつづけようとしています。世界中の労働者民衆を敵にまわしているのです。

働者民衆を敵にまわしているのです。

アメリカの中国侵略戦争計画は、沖縄・南西諸島を最前線にするものです。自衛隊が最前線を担うこと、日本が憲法をかなぐりすてて参戦することなしにこの戦争はありません。日本の労働者民衆が、軍事費2倍化、辺野古新基地建設強行の岸田政権を打倒することは世界戦争を止める決定的な行動であり、国際連帯そのものです。

女性の行動は未来を決します。上川陽子外相はW P S (女性、平和、安全保障) の旗を振り、「平和」の名の下に帝国主義の侵略戦争に女性を再び動員しようとしています。「低賃金でも働け」「子どもを産め」「軍隊も担え」??? ふざけるな!! 資本主義の矛盾を一身に受けた女性たちが、怒りたちあがるとき社会は変わります。それを1917年、ロシアの3・8国際婦人デーが示しています。あらゆる怒りを結集し、差別と戦争の資本主義を倒すために団結してたちあがりましょう。

## 女性差別と戦争の 根源 資本主義を 倒そう！

### 3・8国際婦人デー

1908年3月8日、ニューヨークで女性縫製工らが、劣悪な労働環境、長時間労働、低賃金に怒り、参政権を求めデモに立ち上がりました。その数15000人。この日を記念して国際社会主義婦人会議が1910年に3月8日を国際婦人デーとすることを決め、1911年からたたかいつがれています。

1917年、ロシアの3・8国際婦人デーは、女性たちが「パンと平和」を求めるデモとストライキに立ち上がりました。この闘いは帝政を打倒し、戦争を終わらせる革命の口火をきりました。

【右の写真説明 上から】・反資本主義女性団体ZORAを弾圧するベルリン警察(12月21日)。ドイツでも弾圧を打ち破りパレスチナ連帯行動がまきおこっている。

・イギリスの医療労働者がガザ攻撃で利益を得るハイテク企業パランティア社のロンドン本社を閉鎖(12月21日)「ガザでは少なくとも300人の医療従事者が殺されている」

・ガザ攻撃に反対し徴兵を拒否する若者がイスラエルで増えている(1月12日 PEOPLES WORLDの記事より)

